

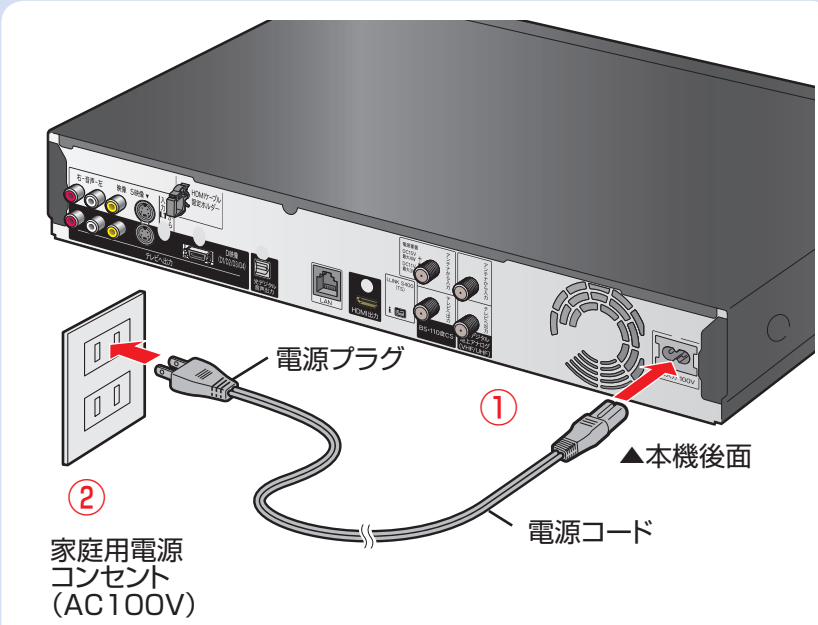
# ステップ 3 初めての設定をする (初期設定)

● 接続後に初めて電源を入れたときは、セットアップのための初期設定画面が表示されます。

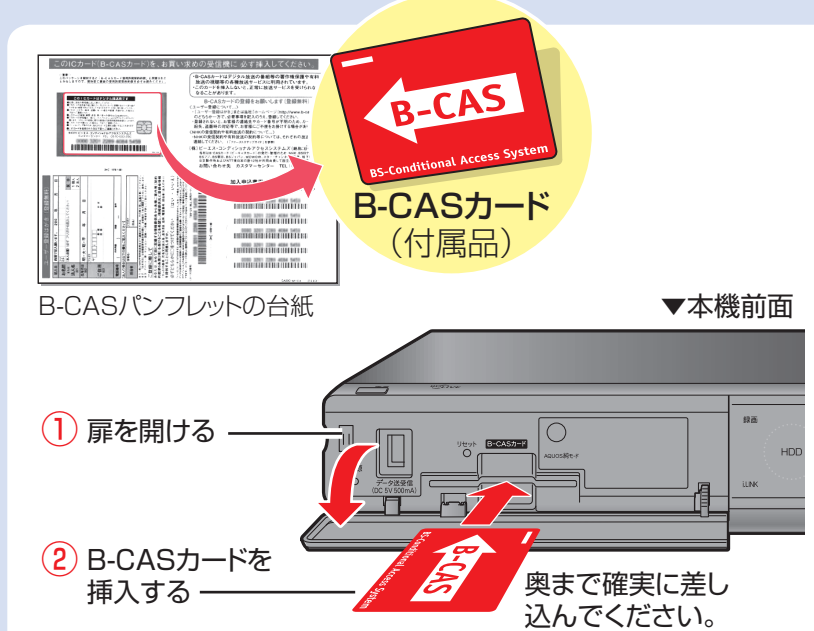
次の手順で設定します。

アンテナ線、テレビとの接続はお済みですか？  
◎ まだ接続が済んでいない場合は、うら面のステップ1・2を済ませてください。

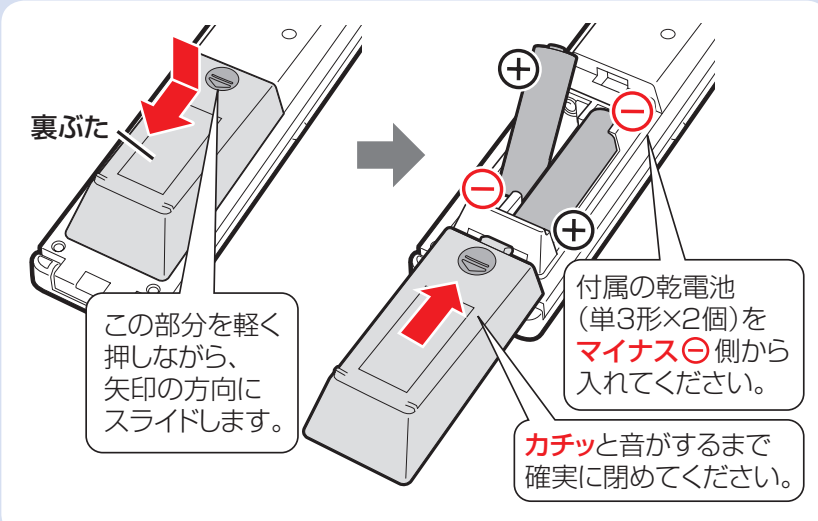
## 1 本機に電源コード(付属)を接続します



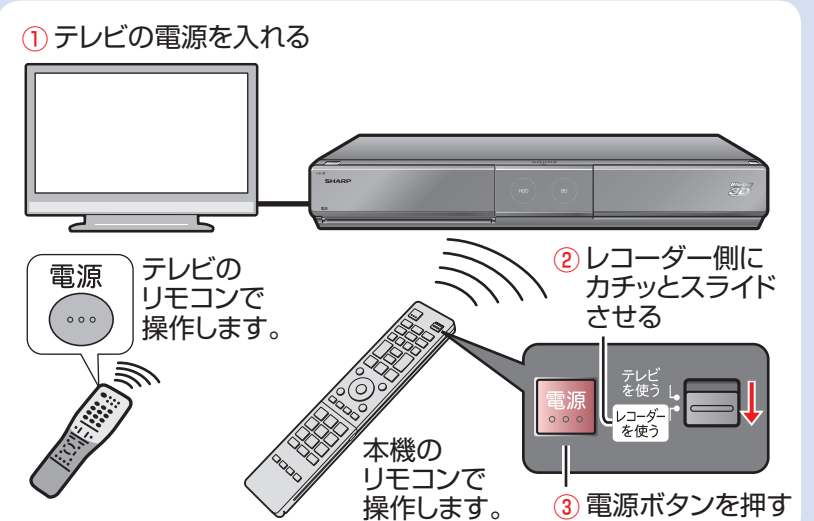
## 2 本機にB-CASカード(付属)を入れます



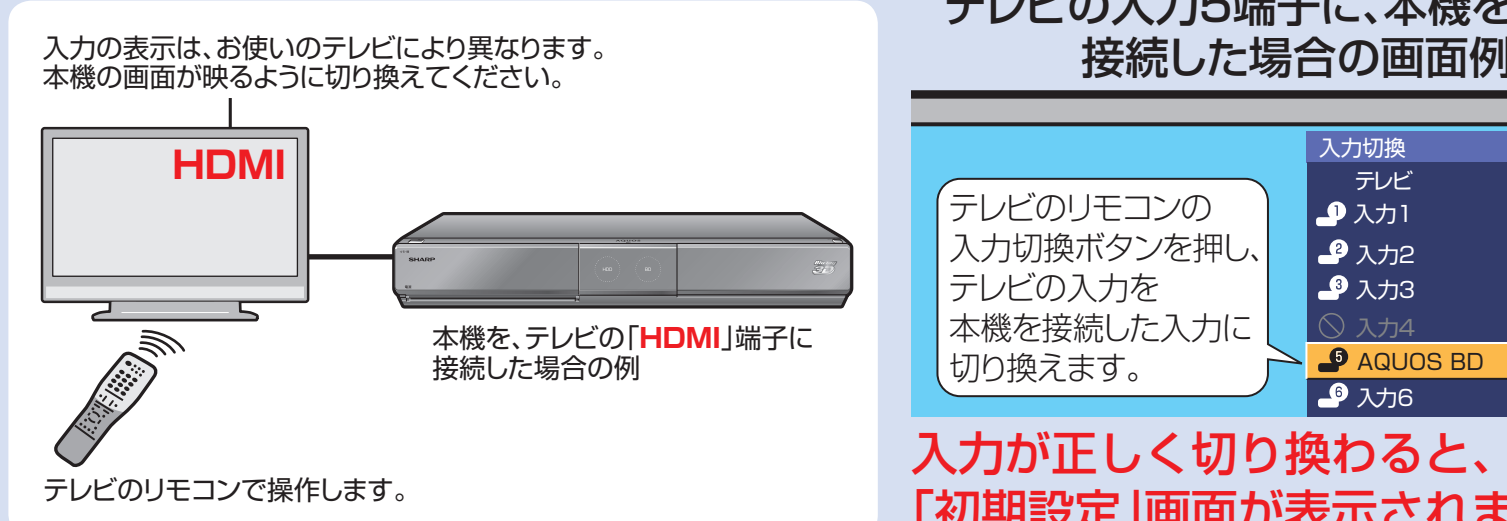
## 3 リモコンに乾電池(付属)を入れます



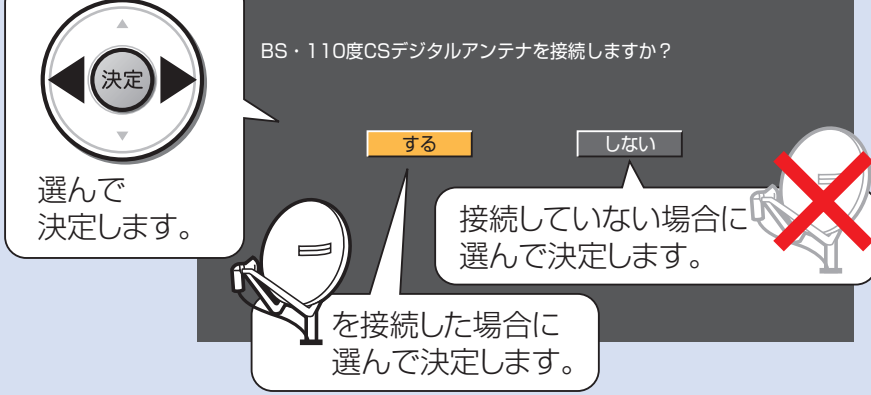
## 4 テレビと本機の電源を入れます



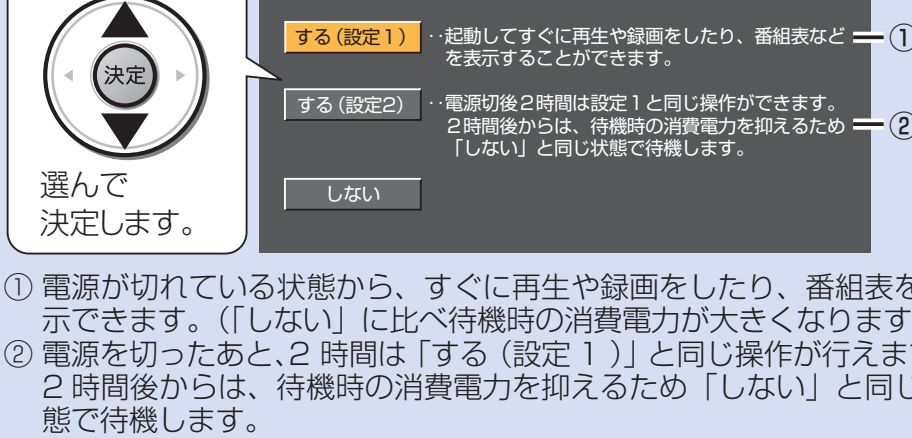
## 5 テレビのリモコンの入力切換ボタンを押し、ステップ2でテレビと本機を接続した入力(テレビの入力端子)に切り換えます



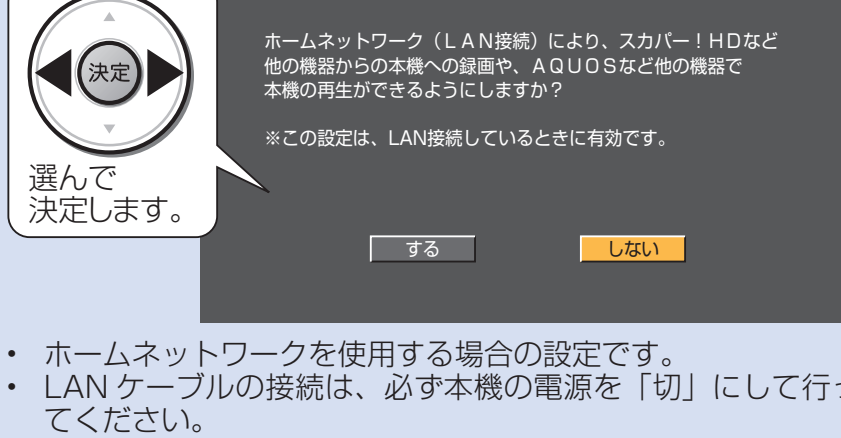
## 9 BS・110度CSアンテナの電源の設定をします



## 8 クイック起動を設定します



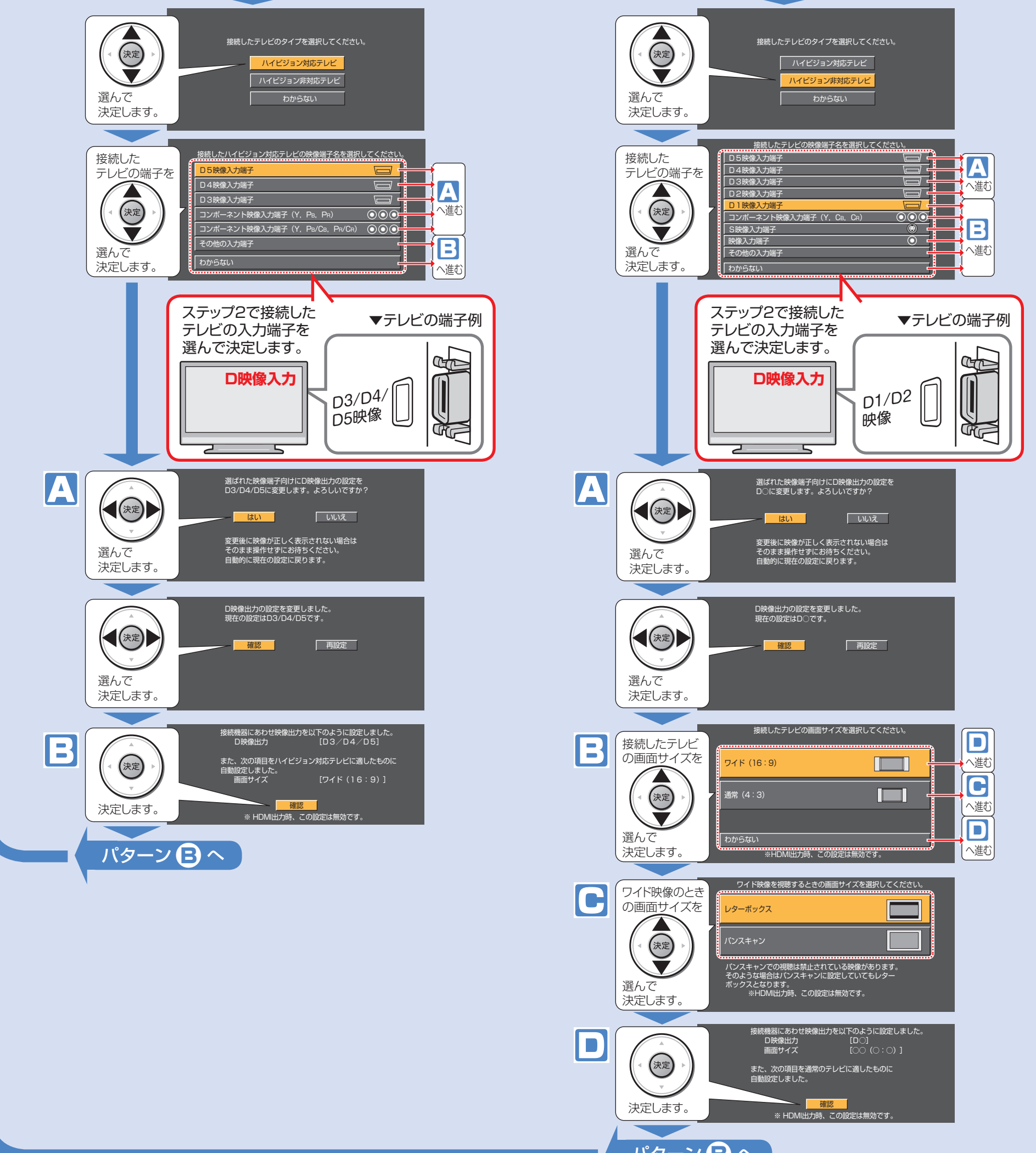
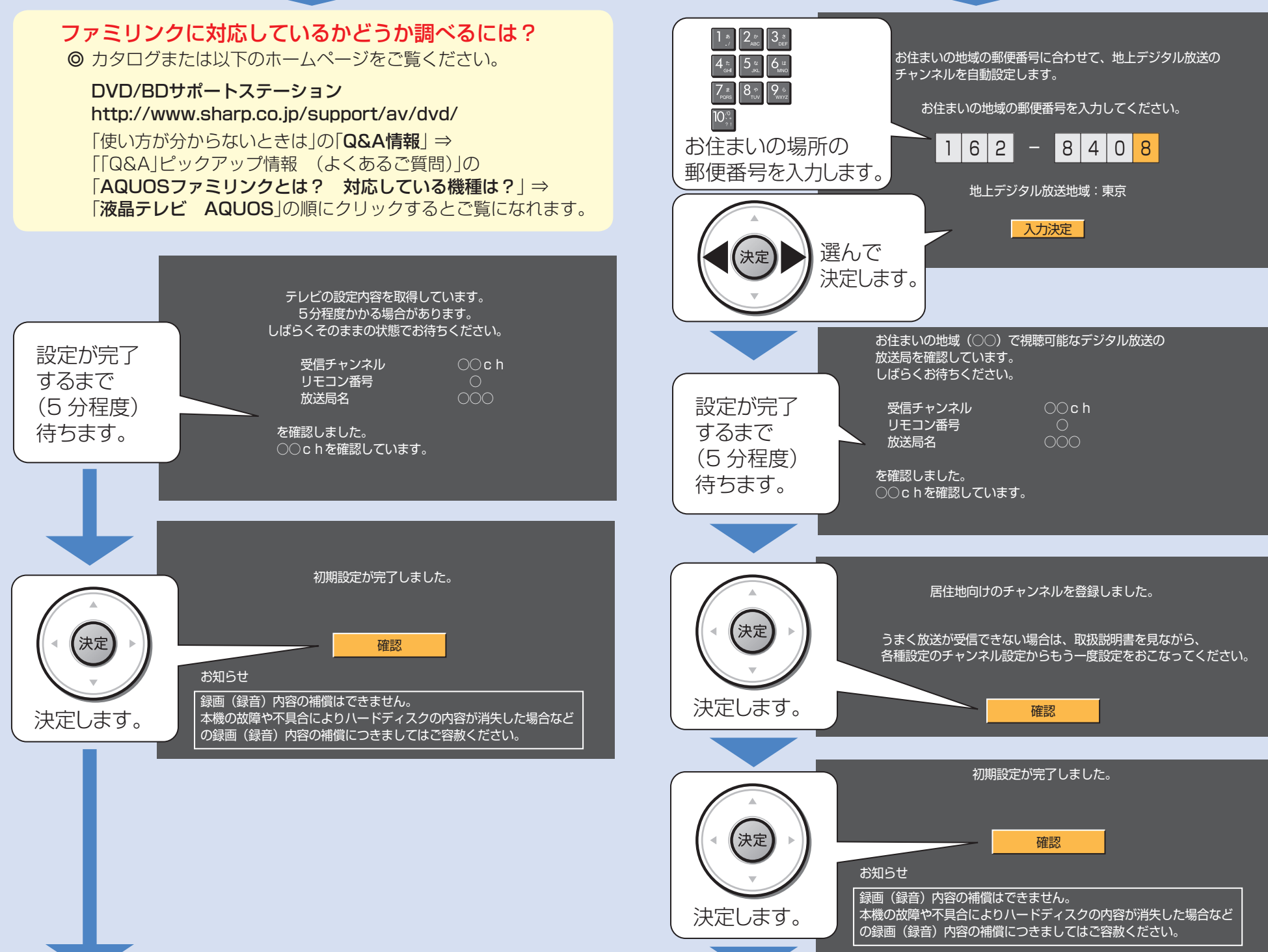
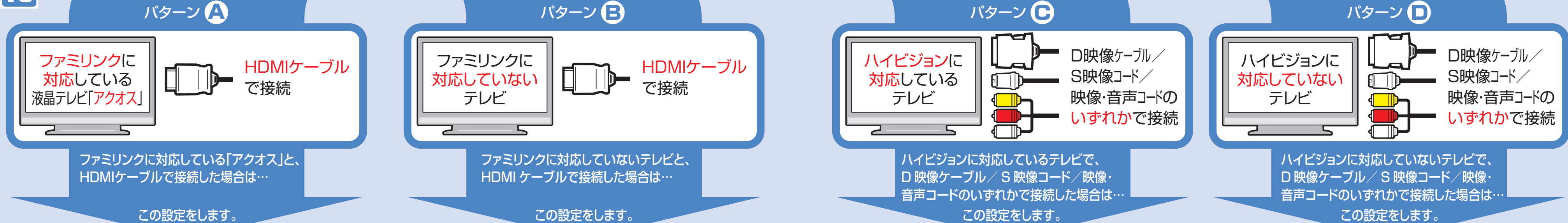
## 7 ホームネットワークを設定します



## 6 本機のリモコンを使って、初期設定を始めます

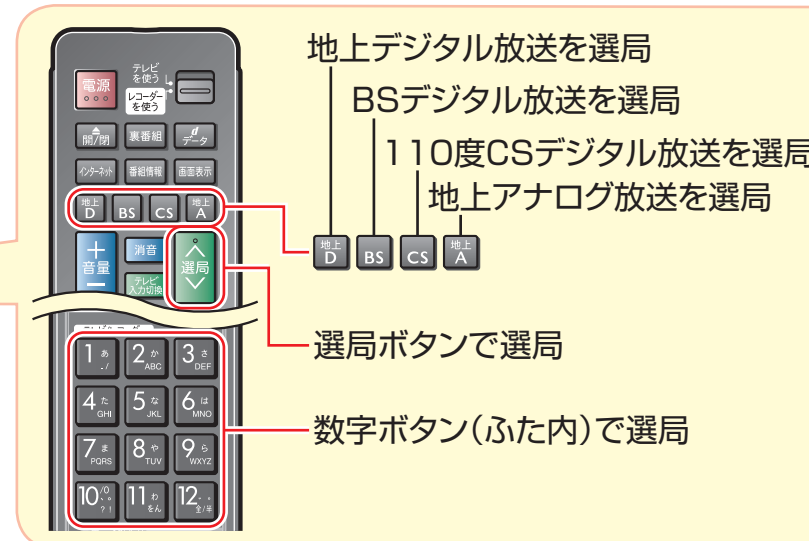
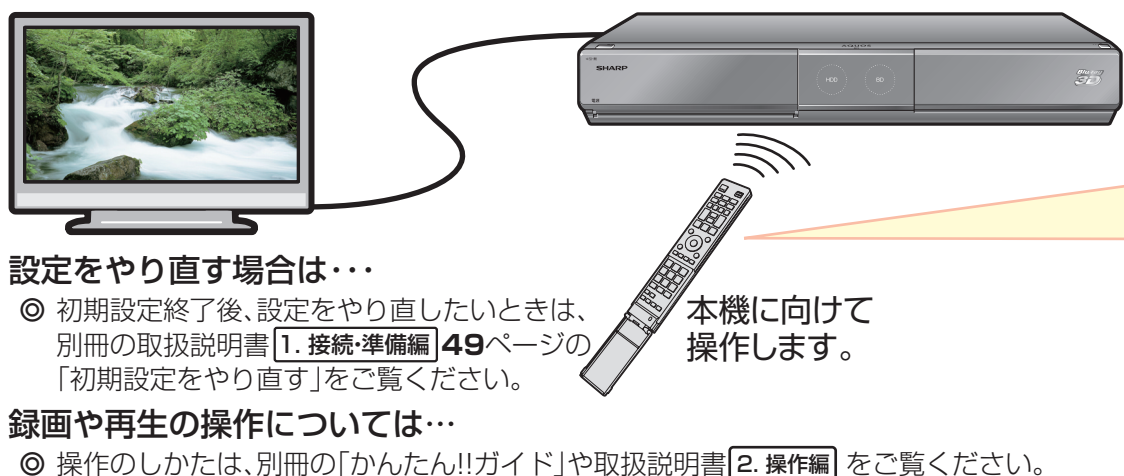


## 10 レコーダー(本機)を接続したテレビに合わせた設定をします (接続したケーブルとテレビを確認して、パターンA④B④C④Dのいずれかの設定をします。)



設定完了

### テレビ放送が映るか、確認します



SHARP

ブルーレイディスクレコーダー

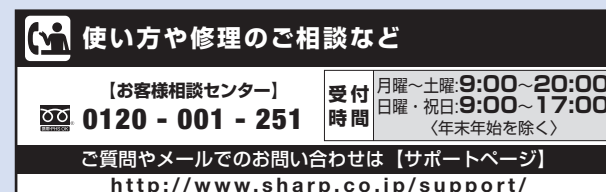
ピー ディー エイチ ディー エス

形名 BD-HDS63

BD-HDS65



操作のしかたは、別冊の「かんたん!!ガイド」や取扱説明書「2. 操作編」をご覧ください。

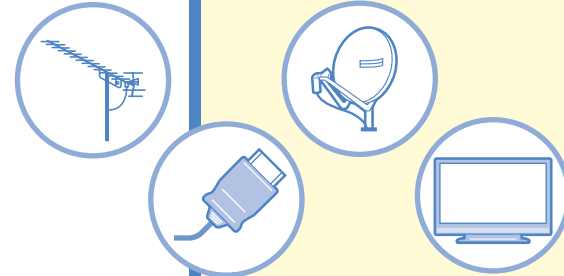


Printed in China  
ORE9008-A

## 接続・設定ガイド

本機にアンテナ線とテレビを接続し、電源を入れて「初期設定」を完了するまでの流れ

- ステップ1 アンテナ線を接続する (うら面をご覧ください。)
- ステップ2 テレビと本機を接続する
- ステップ3 初めての設定をする (初期設定)



TINSJA442WJQZ  
11P01-CH-NM

広げて、うら面の

ステップ1から  
ご覧ください。



# ステップ 1 アンテナ線を接続する

デジタル放送の受信に必要なアンテナをお確かめください。  
 ◎ UHFアンテナやBS/CSアンテナ(衛星アンテナ)の設置が必要になる場合があります。

**UHFアンテナ**  
 地上デジタル放送の受信に必要です。

**BS/CSアンテナ**  
 BS・110度CSデジタル放送の受信に必要です。

アンテナ(放送)環境を確認し、接続のしかたを選びます。

ケーブルテレビ(CATV)を見る場合の接続例について

◎ 下記の「ケーブルテレビ(CATV)ボックスを使って、ケーブルテレビを見る場合の接続例」をご覧ください。

・地上デジタル放送だけを見る場合や、BS・110度CSデジタル放送だけを見る場合は必要ありません。  
 ・テレビのアンテナ端子[VHF/UHF/地上デジタル]が一つの場合は必要ありません。  
 [VHF/UHF]と「地上デジタル」が別々のアンテナ端子の場合に使用します。

部屋のアンテナ端子

VHF/UHF

BS/CS

アンテナの信号が弱くて映りが悪くなった場合に、お使いください。

ブースター (市販品)

衛星放送用同軸ケーブル(市販品)

部屋のアンテナ端子

VHF/UHF/BS/CS

衛星放送用同軸ケーブル(市販品)

アンテナ信号が減衰する場合について

・分配器を使うと、アンテナ信号が減衰します。減衰量は、アンテナ線の長さや太さによっても変わります。

・本機を経由してテレビへアンテナ線を接続したときも、多少アンテナ信号が減衰する場合があります。

・地上デジタル放送だけを見る場合や、BS・110度CSデジタル放送だけを見る場合は必要ありません。  
 ・テレビのアンテナ端子[VHF/UHF/地上デジタル]が一つの場合は必要ありません。  
 [VHF/UHF]と「地上デジタル」が別々のアンテナ端子の場合に使用します。

部屋のアンテナ端子

VHF/UHF/BS/CS

衛星放送用同軸ケーブル(市販品)

アンテナの信号が弱くて映りが悪くなった場合に、お使いください。

ブースター (市販品)

衛星放送用同軸ケーブル(市販品)

・地上デジタル放送または地上アナログ放送だけを見る場合は必要ありません。  
 ・BS/UV 分配器(市販品)は、金属シールドタイプで、110度CS帯域(2150MHz)まで対応したものをお使いください。

必要なケーブル・分波器・分配器を準備して、接続してください。

◎ アンテナ(放送)環境により、市販品が必要になる場合があります。

付属品

・アンテナケーブル 1本

市販品

・アンテナケーブル

・衛星放送用同軸ケーブル<sup>※1</sup>

・ブースター

・分波器(金属シールドタイプ)<sup>※2</sup>

・分配器(金属シールドタイプ)

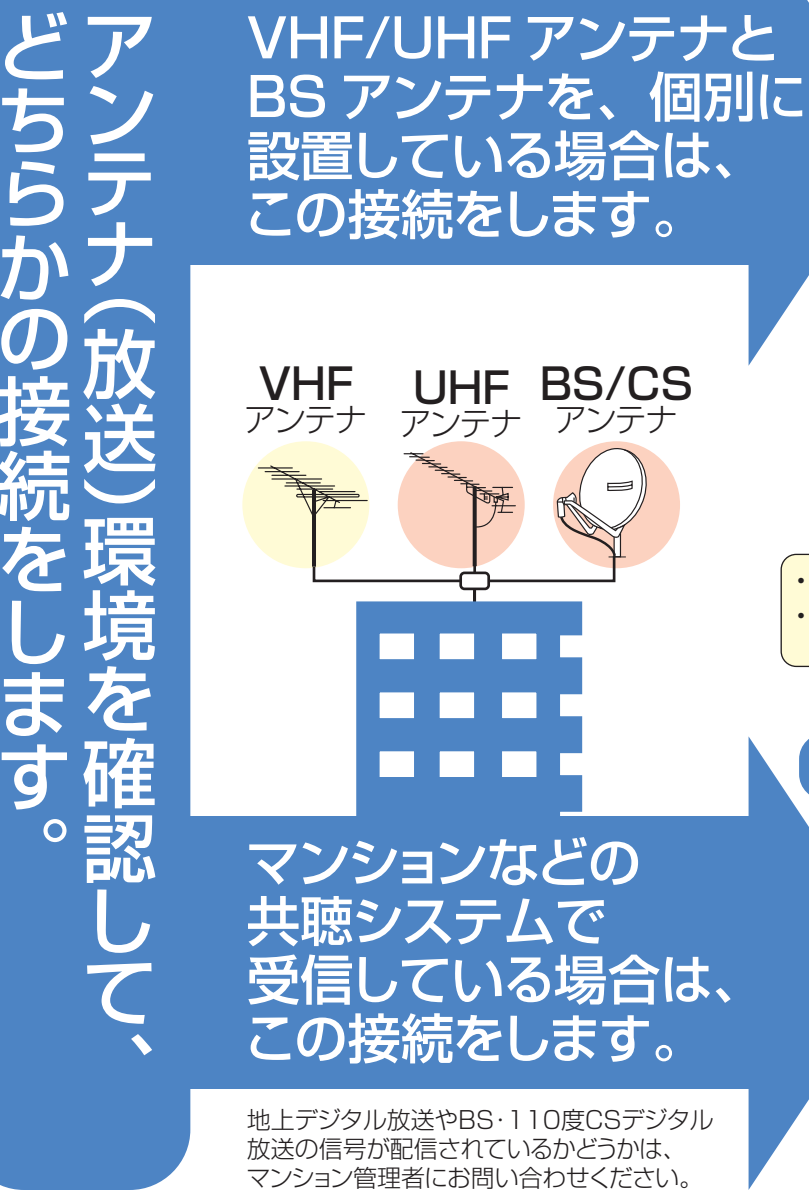
※1 110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているもの(S-SC-FBなど)をおすすめします。  
 ※2 金属シールドタイプで110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているものをお使いください。

VHF/UHF アンテナとBS アンテナを、個別に設置している場合は、この接続をします。

VHF アンテナ UHF アンテナ BS/CS アンテナ

マンションなどの共聴システムで受信している場合は、この接続をします。

地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送の信号が配信されているかどうかは、マンション管理者にお問い合わせください。



アンテナ(放送)環境を確認して、どちらかの接続をします。

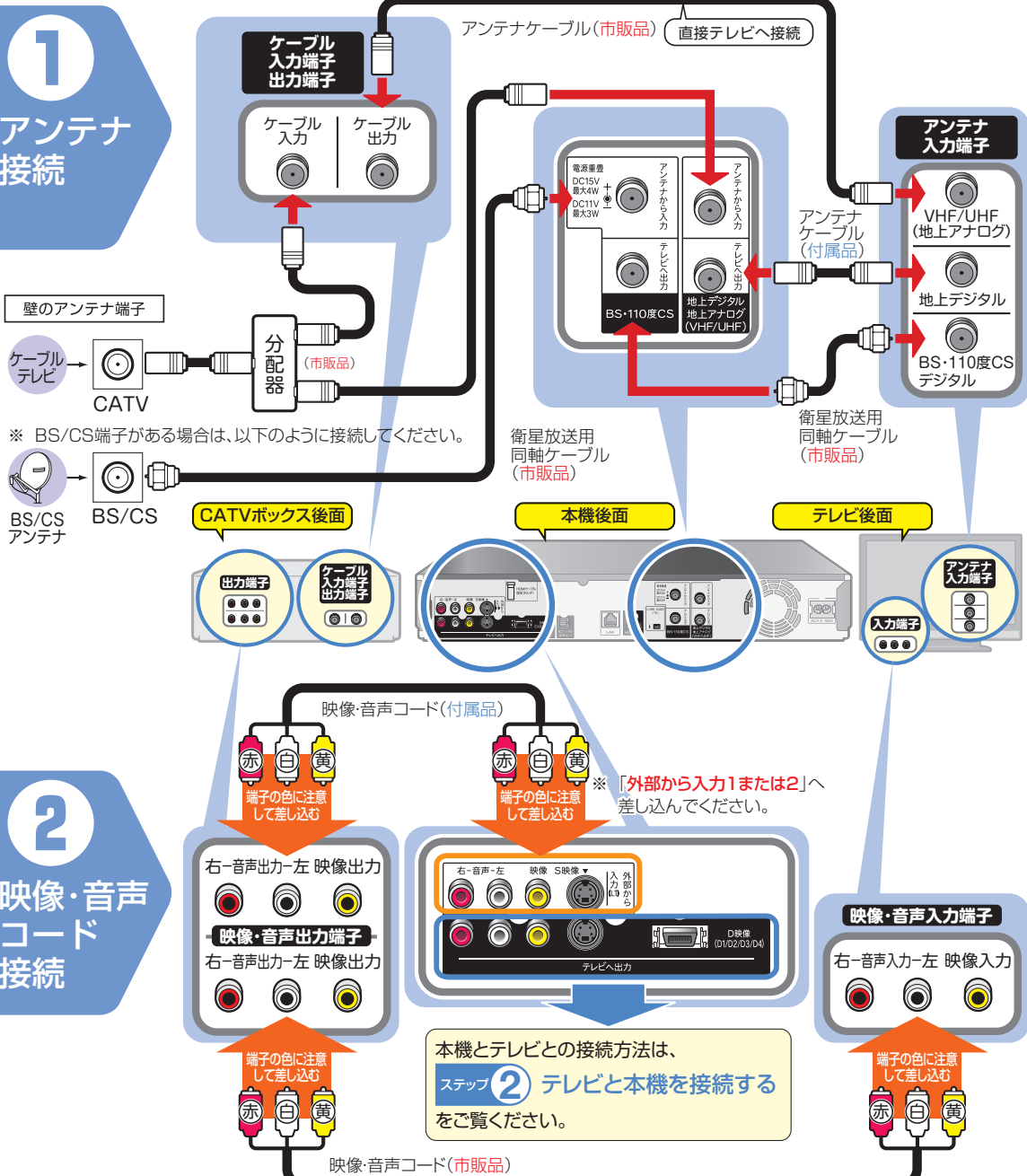
アンテナの接続が済んだら、ステップ2へ進みます。

## ケーブルテレビ(CATV)ボックスを接続する

- CATVの接続方法や受信できる放送は異なります。詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
- 地上デジタル放送をバススルー方式でケーブルテレビから受信している場合は、本機で地上デジタル放送が楽しめます。
- アンテナ(放送)環境により、ケーブルなどの市販品が必要となります。

**ヒント**  
 ケーブルテレビ(CATV)ボックスが「J:COM」(株) ジュビターテレコム社取り扱いのi.LINK 端子搭載のデジタルセットトップボックスの場合は、i.LINK ケーブル(4ピン/市販品)で接続することをおすすめします。デジタル放送をハイビジョン画質で録画できます。接続は別冊の取扱説明書「[1.接続準備編](#)」の20、22ページをご覧ください。

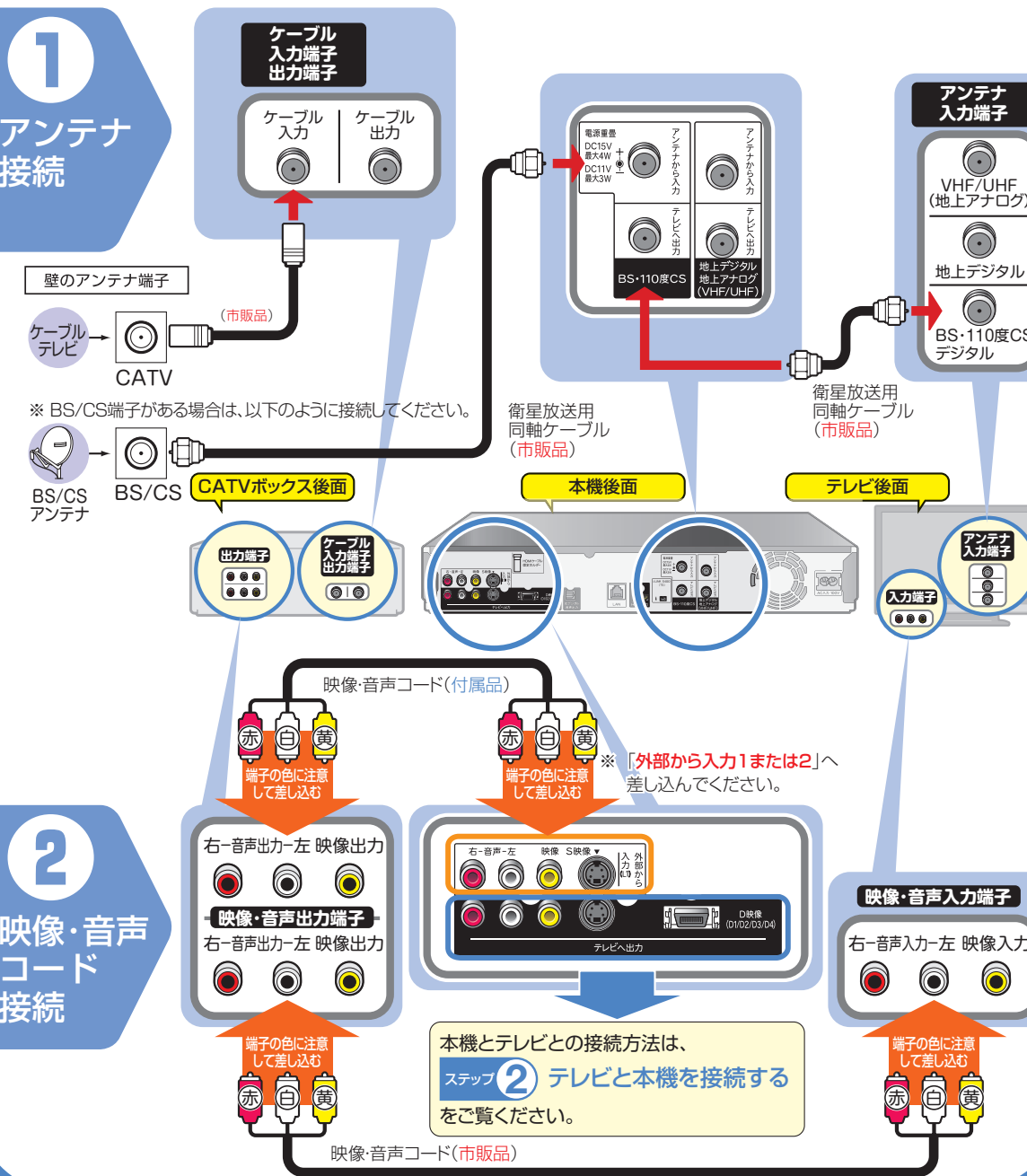
ケーブルテレビ(CATV)の方式が「バススルー方式」の場合の接続例



ケーブルテレビ(CATV)ボックスとテレビの接続については、ケーブルテレビ(CATV)ボックスの取扱説明書をご覧ください。

ケーブルテレビ(CATV)の方式が「トランスモジュレーション方式」の場合の接続例

・本機は、「トランスモジュレーション方式」には対応しておりません。  
 ①のアンテナ接続をした後に、ケーブルテレビ(CATV)ボックスの映像・音声出力端子と、本機やテレビの映像・音声入力端子を接続することで、ケーブルテレビ(CATV)ボックスで選んだチャンネルの番組が楽しめます。  
 [DR/2倍/3倍/5倍/7倍/8.5倍/10倍/HDD OQ]以外の録画画質でHDD(ハードディスク)へ録画できます。(ハイビジョン画質での録画はできません。)



## ステップ 2 テレビと本機を接続する

テレビの映像・音声端子を確認し、接続する端子を決めます。

つなぐ端子と画質について

◎ テレビの入力端子を確認し、できる限り高画質に対応している端子と接続してください。ハイビジョン画質でお楽しみいただくためには、HDMIケーブル(付属品)またはD映像ケーブル(市販品)を使用した接続が必要です。

よりきれいな映像を楽しむために

◎ テレビにHDMI入力端子がある場合は、HDMIケーブル(付属品)を使って接続することをおすすめします。

シャープ製ファミリンク機能に対応したテレビ「[アコース](#)」をお持ちの場合は

◎ 本機とHDMIケーブル(付属品)でつなぐと、本機とテレビの連動操作が楽しめます。

◎ ファミリンク機能については、別冊の「[かんたん!!ガイド](#)」をご覧ください。

必要なケーブルを準備して、接続してください。

◎ テレビ側の端子の種類により、市販品が必要になる場合があります。

付属品

・HDMIケーブル 1本

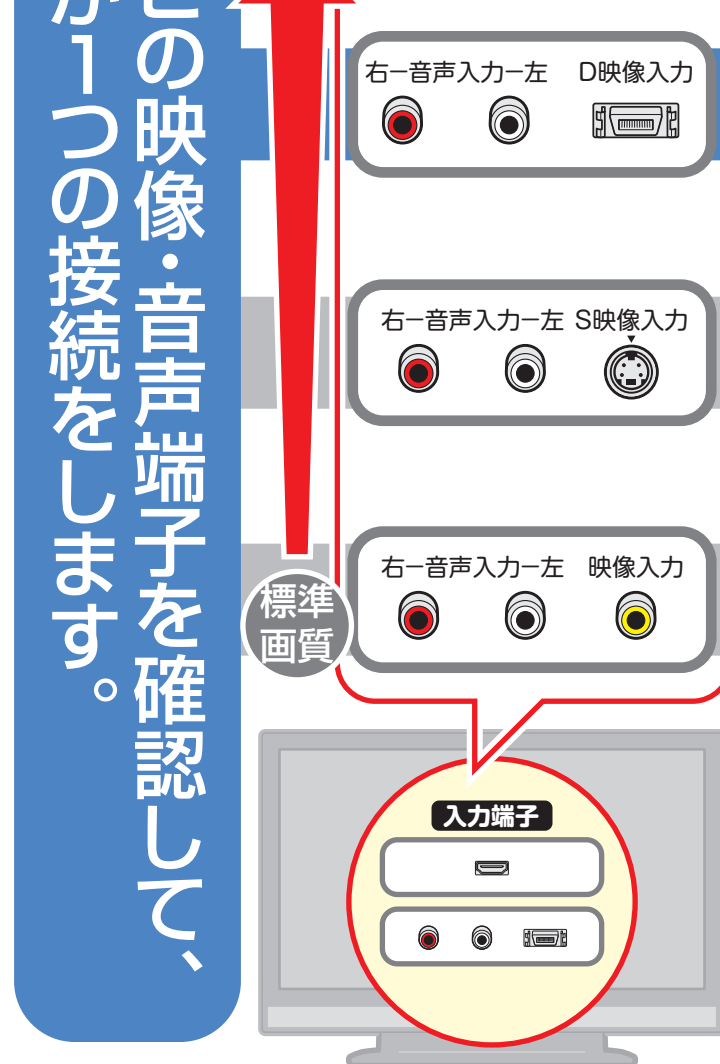
・映像・音声コード 1本

市販品

・D映像ケーブル

・S映像コード

テレビの映像・音声端子を確認して、どれか一つの接続をします。



アコースオーディオ(アコースサウンド)も接続する場合は

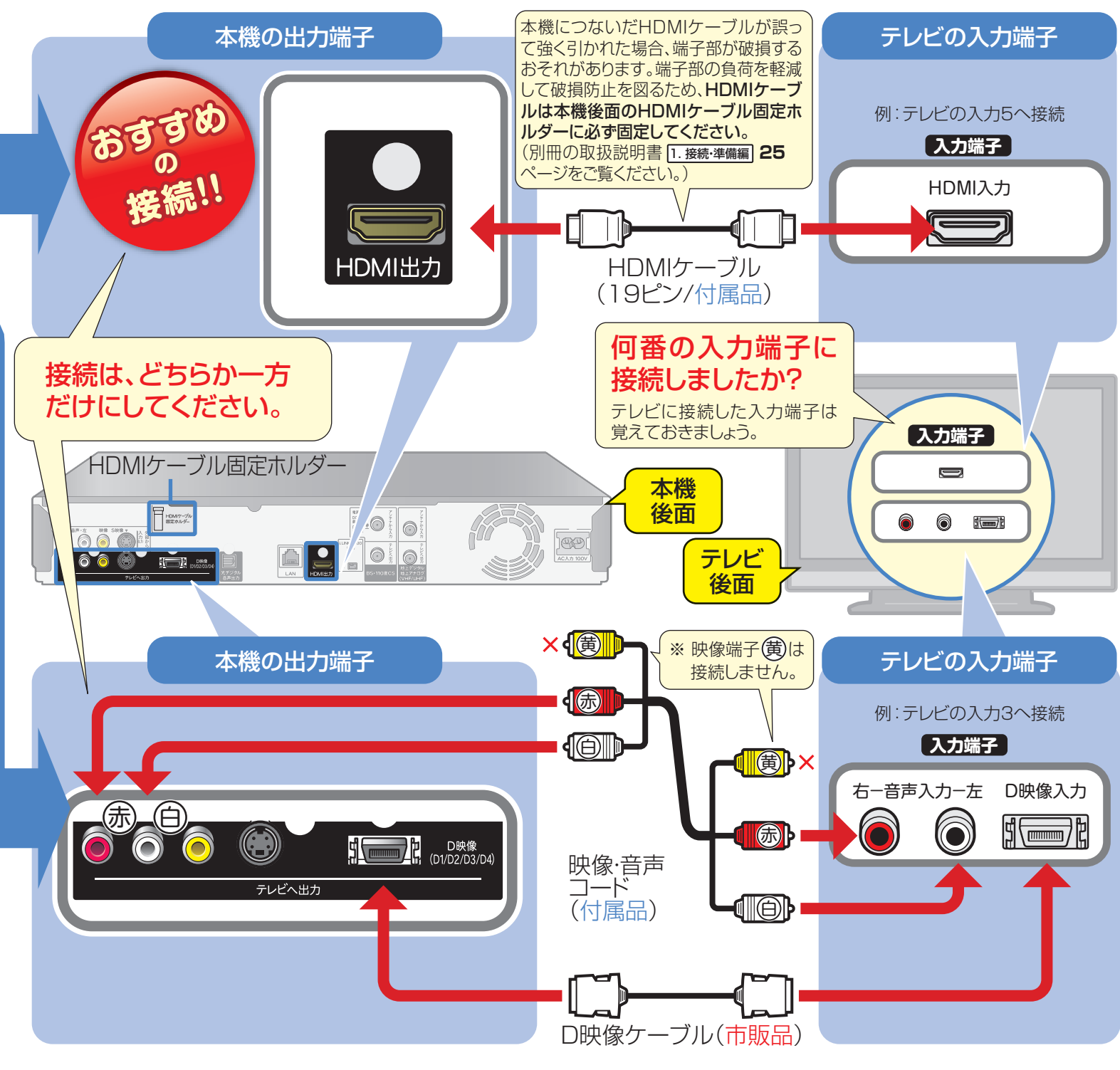
◎ 下記の「アコースオーディオ(アコースサウンド)の接続例」または別冊の取扱説明書「[1.接続準備編](#)」34、35ページをご覧ください。

HDMI 入力端子付きテレビの場合は、この接続をします。

D 映像入力端子付きテレビの場合は、この接続をします。

S 映像入力端子付きテレビの場合は、この接続をします。

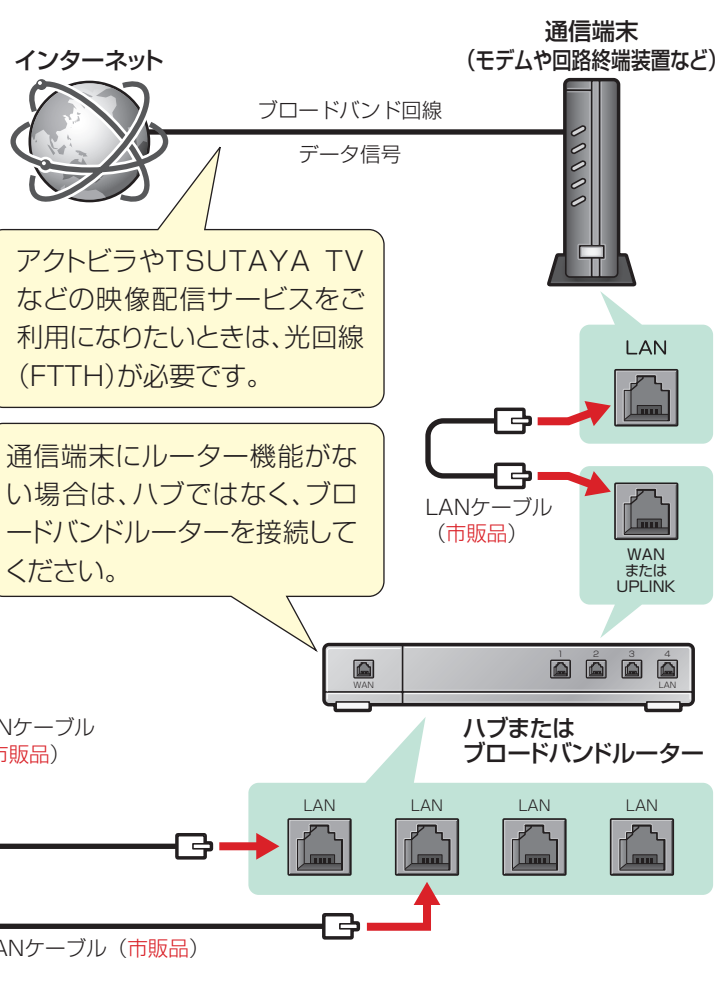
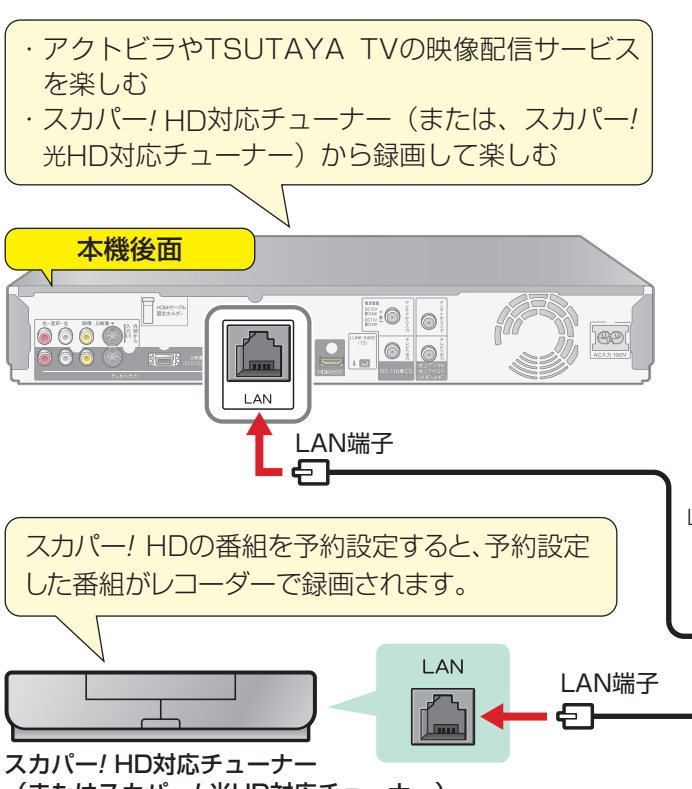
映像・音声入力端子付きテレビの場合は、この接続をします。



接続が済んだら、ステップ3(おもて面)へ進みます。  
 ※ここで接続した端子をステップ3(おもて面)の手順5で選びます。

### 双方向通信やホームネットワークの接続(LAN接続)

- ・ADSLでの接続の一例です。回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。
- ・LANに接続する場合は、必ず本機の電源を「切」にして行ってください。
- ・接続について、詳しくは別冊の取扱説明書「[1.接続準備編](#)」37ページをご覧ください。

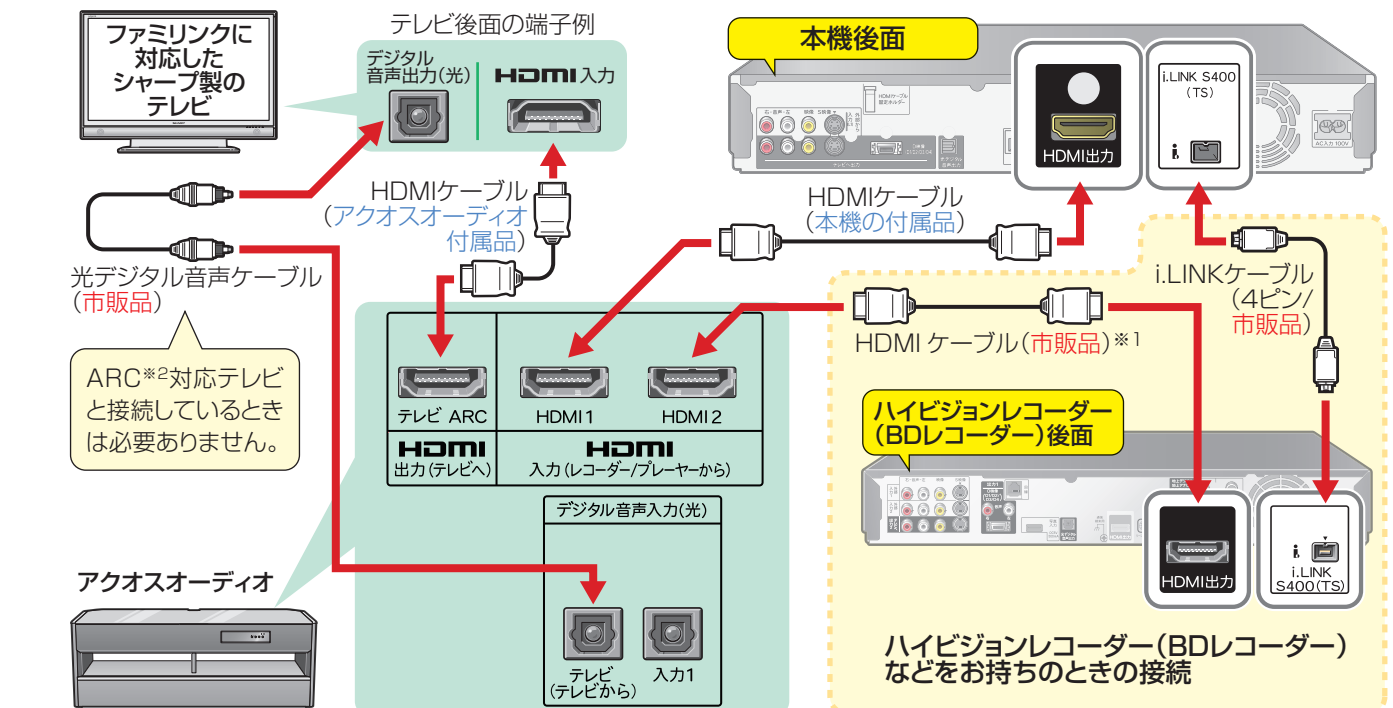


### アコースオーディオの接続例

シャープ製ファミリンク対応の「[アコース](#)」と「[ハイビジョンレコーダー](#) (BDレコーダー)」などとアコースオーディオをお持ちのお客様へ。接続について詳しくはアコースオーディオの取扱説明書をご覧ください。

アコースオーディオ AN-AR430 AN-AR530 AN-AR630 のいずれかをお持ちの場合

・ハイビジョンレコーダー (BDレコーダー) などの音声を入アコースオーディオでお楽しみになる場合は、アコースオーディオの入力を「[HDMI2](#)」に切り換えてください。



※1 1080pに対応したアコースオーディオや3D対応のテレビと接続するときは、HIGH SPEEDに対応したHDMIケーブルをお使いください。上記の接続例は基本的な接続例です。お持ちの機器により接続が変わりますので、詳しくは別冊の取扱説明書「[1.接続準備編](#)」をご覧ください。

※2 ARC (オーディオリターンチャンネル) とは、HDMI ケーブルを接続するだけでARC 対応テレビからアコースオーディオへ音声信号を出力する機能です。